

50th
Anniversary
since 1973

一緒にします、いい人生

RHTG
RESORTTRUST
GROUP

証券コード：4681

第51期 中間期 株主通信 Vol.50

2023年4月1日～2023年9月30日



INVESTORS' REPORT
April 2023 - September 2023

RESORTTRUST

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



CEO 伊藤 勝康



COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。当中間期はホテル及びメディカルの会員権販売が好調に推移し、ホテル・レストランなどの稼働率も順調に回復いたしました。通期の業績についても期初の予想を大幅に上回る見通しで、実に5年ぶりに過去最高の売上高・営業利益の更新を見込んでおります。

当期からスタートした新中期経営計画「Sustainable Connect」も順調なスタートを切っております。メディカル関連では新たな検診施設の相次ぐ開業が決まり、シニアレジデンス事業でも新たな展開があるなど、事業のスピード感、スケール感が一気に高まってまいりました。会員制リゾートホテルの開発も計画通りのペースで進んでおります。こうした取り組みと並行して、従業員の働きがい向上に向けた取り組みや、SDGs・サステナビリティに対する取り組みも推進しており、あらゆるステークホルダーの皆様と、より強い共感と信頼関係で結ばれるよう努めております。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）伊藤 勝康

代表取締役社長 COO（最高執行責任者）伏見 有貴

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

会員権販売や施設稼働率が高水準で推移。
過去最高の経営成績を見込み、新たな成長ステージへ。

会員権販売に加え、 ホテル・レストランなどの稼働率も大きく回復

—— 当中間期の事業環境と業績についてお聞かせください。

物価や人件費などの高騰が続く一方、コロナ禍の収束に伴い個人消費は回復傾向にあり、当社グループにおいても、従来から比

較的好調だった会員権販売に加え、ホテル・レストランやシニアレジデンスの稼働率も上昇に転じております。上期の会員権契約高は481億円と過去最高を更新、営業利益においてもホテルレストラン等事業が前年同期比44%増、メディカル事業が同19%増となるなど、各事業とも好調に推移いたしました。これらの結果、当中間期の売上高は前年同期比6.4%増、営業利益は同8.6%増と

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

なりました。純利益に関しては、前年同期に一般ホテルの売却に伴い約90億円の特別利益を計上した反動によって減益となっておりますが、こうした特殊要因や会計上の繰延べの要素を除けば、各利益も過去最高水準の結果となりました。

会員権事業では、昨年10月に販売を開始した「サンクチュアリコート日光」を中心に、サンクチュアリコートシリーズの販売が好調に推移し、ホテル契約高は過去最高の437億円、メディカル会員権も過去最高の39億円となりました。新規開業物件の不動産収益の計上に関する会計上の影響などにより、当事業セグメントは減益となりましたが、繰延べを除いた評価営業利益では増益となっています。また、物件原価が上昇する中で、6月には一部会員権の値上げを行いました。

ホテルレストラン等事業では、昨年11月に実施した値上げの効

果が発揮されたほか、「東京ベイコート倶楽部」など回復が遅れていた都市部リゾート施設の稼働率が上昇したことなどから、大幅な増収増益となりました。メディカル事業でも、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増に伴って年会費収入などが増加したことに加え、シニアレジデンスの稼働回復などによって、増収増益となりました。

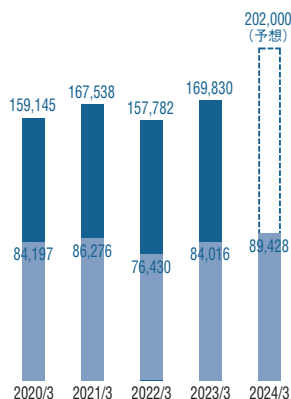
通期業績は5年ぶりに過去最高を更新する見通し

—— 通期の業績見通しについてお聞かせください。

通期の業績見通しにつきましては、事業環境の好転を受けて7月に一度上方修正いたしました。これをさらに上回る見通しとなりました。連結売上高は前期比18.9%増の2,020億円、連結営

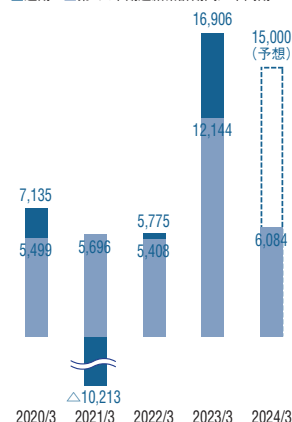
売上高(百万円)

■通期 ■第2四半期連結累計期間/中間期



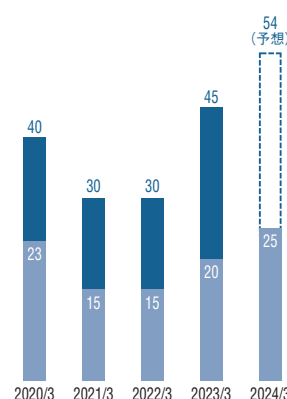
当期純利益(百万円)

■通期 ■第2四半期連結累計期間/中間期



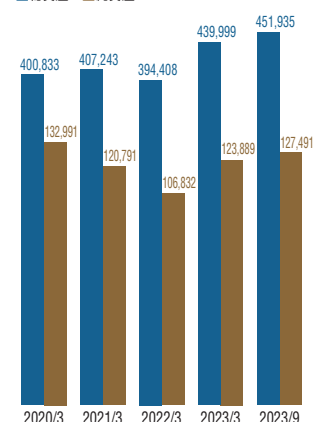
1株当たり配当金(円)

■1株当たり配当金
■1株当たり中間配当金



総資産(百万円)/純資産(百万円)

■総資産 ■純資産



※ 予想に関する数値は、2024年3月期第2四半期決算発表日時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予想と異なる可能性があります。

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

業利益は同71.1%増の210億円と上方修正しており、いずれも5年ぶりに過去最高を更新する見込みです。

会員権事業では2024年3月に「サンクチュアリコート高山」が開業し、繰り延べられていた不動産収益が一括計上されることが、収益を大きく押し上げます。ホテルと美術館が融合した「アートギャラリーリゾート」として順調にご契約いただいております。9月末で90%近い販売率となっております。また、後ほどご紹介する「グランドハイメディック倶楽部」の新規施設につきましても、下期から順次会員募集を開始する見込みです。

このほか、ホテル、ゴルフ、メディカル、シニアライフ等の運営収益も順調に拡大する見通しです。旺盛な需要に対応する一方で、持続的な成長のために向けて賃金の継続的な引き上げなどにも積極的に取り組み、さらなる生産性・創造性の向上にも繋げてまいります。

ホテルの新規案件のほか メディカル事業で大きな動きが相次ぐ

—— 中長期の成長戦略についてお聞かせください。

当期は、新たに始動した5年間の中期経営計画「Sustainable Connect」の初年度です。サステナビリティ経営の推進などを掲げた当計画では、さらなる事業拡大とともに経営基盤の強化などを推進し、当面の目標として3年目の2026年3月期に売上高2,300億円を達成することなどを掲げております。

今後のホテル開発スケジュールは、すでに販売開始済みの高山、琵琶湖、日光の物件に続き、2024年度以降も毎年1施設のペースでの開発を予定しております。近く2024年度に発売予定

の金沢市での新たな物件について詳細を公表させていただく予定です。

メディカル関連でも大きな動きが相次いでおり、「グランドハイメディック倶楽部」を大阪・東京・横浜で新たに開設することとなりました。心身・社会的に満たされた状態を意味する「ウェルビーイング」への貢献を目指し、各拠点の特性を活かした検診やさまざまなプログラムを提供してまいります。さらに、三菱地所グループの三菱地所レジデンスと共同でシニアレジデンスの開発に取り組みすることも決定しました。第1号となる物件は、2026年に東京都心部での開業を目指してまいります。

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

通期業績の見通しを上方修正したことに伴い、期末配当金の予想につきましても、従来予想の1株当たり25円から4円増額し、29円とさせていただきます。年間配当金は54円となり、過去最高となる見通しです。このうち4円は創立50周年の記念配当と位置づけさせていただいております。

長かったコロナ禍もようやく収束し、リゾート市場にも活気が戻ってまいりました。今後はインバウンド需要も本格的に回復してくると思われれます。ここ数年間は我慢の経営を強いられてきた当社グループですが、いよいよ新たな成長へと向けて大きく舵を切る時機が訪れたようです。当期は必ず過去最高の経営成績を達成し、来期以降はさらなる飛躍を実現してまいりたいと考えております。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO 伏見 有貴

REVIEW OF OPERATIONS

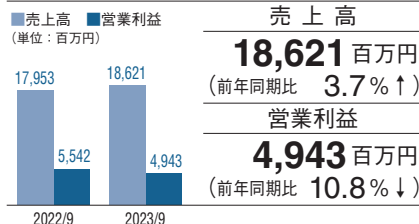
セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations



独自のコンセプトと多彩なロケーションで展開する高級会員制リゾートホテルの開発と、それらの会員権販売などを行っております。



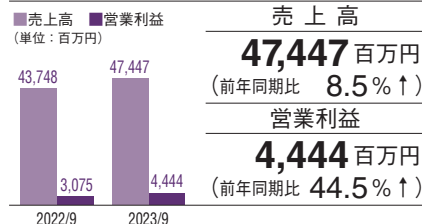
会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移しましたが、開業するまでの間は、「不動産代金」の「売上高及び原価」が繰延べられること、また、前年同期に比べ、見込み客紹介の業務委託手数料や営業スタッフのペア等人件費の増加などコストアップにより、増収減益となりました。

ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations



本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営、会員制ゴルフ場の運営などを行っております。



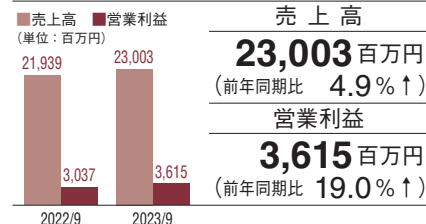
ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、一部ホテル売却の準備コストがかかっていたものが無くなるなどコスト減少に加え、昨年11月からの値上げの効果、さらには、「東京ベイコート倶楽部」など回復の遅れていたアーバンリゾートの稼働回復などにより、ペアや中抜け廃止などの人事施策実行に伴うコスト増を吸収し、増収増益となりました。

メディカル事業

Medical Operations



最先端で高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったことで、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことに加え、シニアレジデンスの稼働回復などにより、増収増益となりました。

本社費(全社費用)

Overhead expenses



リゾートトラストグループ創立50周年を 支えていただいた皆様へ 感謝の気持ちを込めて、キャンペーンを 実施しております。

2023年4月より、50周年を記念し、多彩なキャンペーンを開催中です。

「50周年特設ページ」ではリゾートトラストグループのフィロソフィーや歴史、会員の皆様からの思い出エピソードもご紹介しています。そのほか各ホテルで開催中のイベントや、各商品・サービスの優待料金なども掲載しております。詳細は特設ページをご覧ください。



リゾートトラストグループと
会員様との思い出エピソード公開中

<https://identity.rtg.jp/memories/episode/>



リゾートトラストグループ
50周年特設ページ

<https://identity.rtg.jp>



「リゾートトラスト オンラインショップ」グランドオープン

当サイトでは、各ホテルの料理長たちが創り出す料理・グルメ・スイーツや、ホテルソムリエが厳選したワイン、ホテルオリジナル商品に加え、「コンプレックス ビズ」のヘアアクセサリや、株式会社アドバンスト・メディカル・ケアの化粧品・サプリメントなど、リゾートトラストグループのこだわりが詰まった商品を豊富にセレクトいたしました。

また、「リゾートトラストセレクション」として、バイヤーが厳選した逸品（厳選食品、地域の銘品、ファッショングッズ、ライフスタイル用品等）をラインナップ。リゾートトラストの世界観をより身近に、そしていつでも感じられるアイテムをオンラインでお求めいただけます。



<https://shop.rtg.jp/>



SPECIAL SECTION

特集

サンクチュアリコート高山 ART GALLERY RESORT

～価値ある芸術作品と雄大な自然を記憶する～

COMING
SOON

2024年3月
開業予定

Location & Access

お車でお越しの方

▶ 中部縦貫自動車道「高山」J.Cより車で約10分

▶ 「高山西」J.Cより車で約12分

電車でお越しの方

▶ JR高山本線「高山」駅よりタクシーで約4分

非日常空間で上質なアートをお楽しみください

サンクチュアリコート高山 アートギャラリーリゾート
開業準備室 室長 金村 輝男



当ホテルの最大の見どころは、会員制ホテルと美術館が融合した日本では唯一無二と言えるアートギャラリーです。ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで三ツ星を獲得した飛騨高山美術館から受け継いだ貴重な美術品など、至る所にアートがちりばめられた非日常的な空間で、最高のやすらぎと寛ぎを創出します。「ディスティネーションホテル」として、ぜひここでしか味わえない体験をお楽しみください。



(上) イタリア料理レストラン ガーデンテラス

(左) 飛騨高山美術館 ロビー

(右) 飛騨高山美術館 ガレの杜～アール・ヌーヴォー

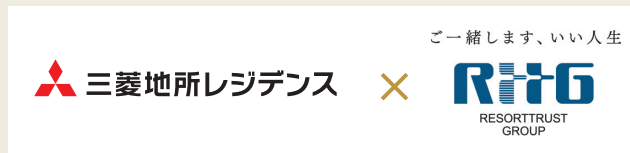


三菱地所レジデンスとリゾートトラストグループのハイメディックが連携 ～フラッグシップとなるシニアレジデンスを共同開発

シニア世代に新たなライフステージが生まれつつある中、三菱地所レジデンス(株)とリゾートトラストグループのシニアライフ事業、メディカル事業を担う(株)ハイメディックは、2023年11月に共同事業協定書を締結しました。シニア世代に上質な住まいと豊かな暮らしを提供するシニアレジデンスの開発を、今後立ち上げる新ブランドのもと共同で進めてまいります。

共同開発によるシニアレジデンス第1号物件の開業を目指す2026年は、リゾートトラストグループがシニアライフ事業に進出して20周年にあたります。三菱地所レジデンスが培ってきた住宅、シニアレジデンスの開発ノウハウや、数々の富裕層向けマンションを分譲してきた実績と、リゾートトラストグループが持つおもてなしの精神と20年に

およぶ医療・介護のノウハウが結び付き、高いシナジーを生み出すことができると考えております。



【三菱地所レジデンスのシニアレジデンス事業】

シニア世代の多様化するライフスタイルに対応し、シニア向けの住宅開発を新たな事業の柱の一つと位置づけ、現在首都圏で20物件を手掛けています。

『グランドハイメディック倶楽部』大阪、東京、横浜に新たに3拠点開設を決定 “ウェルビーイング”への貢献を目指し、新たな価値を創出

会員制総合メディカル倶楽部を運営する(株)ハイメディックは、2024年夏の大阪・中之島を皮切りに、2024年内には東京・六本木駅に直結する複合都市「東京ミッドタウン」に、2026年内にはグランドハイメディック倶楽部初となる横浜へ進出し、メディカル事業のさらなる発展を加速させてまいります。

当倶楽部の会員数は、検診を開始した1994年以降、コロナ禍であっても右肩上がりに増加し、新拠点の開設により2027年度には会員数42,000名達成を見込んでおります。新拠点では、心身・社会的に満たされた状態を意味する「ウェルビーイング」のコンセプトを検診に取り入れ、「病気にならない体づくり」や「生涯の介護予防」にも取り組みます。また、(株)ディー・エヌ・エー(DeNA)との合弁会社(株)ウェルコンパスが推進するDX化により、一人ひとりに寄り添った新しい医療コミュニケーションを実現する計画です。



大阪・中之島の検診拠点を設ける
「Nakanoshima Cross」(中之島クロス)

※2021年5月時点のイメージバースであり、今後変更の可能性がります。

※提供：中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者



受付イメージ▶

マテリアリティとKPI

リゾートトラストグループでは、持続可能な事業と社会の発展に向けて、「地球」「繁栄」「人」「ガバナンス」の4つのテーマで、サステナビリティ経営の根幹となる11のマテリアリティ(重要課題)とKPIを設定しています。

区分	カテゴリ	リゾートトラストグループのテーマ	マテリアリティ	KPI
E	地球	■ 環境負荷の低減 (自然と共に生きつづける)	GHG排出量の削減	● GHG(Scope1,2)の削減量(連結) 2030年:2019年度比 40%減 2050年:カーボンニュートラル
			廃プラスチック・食品ロスの低減	● 特定12品目 ^(注) の提供量削減量(単体) 2027年度:2019年度比 40%減
			生物多様性の保全	● 食品廃棄物の再生利用等実施率(単体) 2027年度:65.6%
S	人	■ 「ご一緒に、いい人生」 の実現 ■ グループ独自の 付加価値の協創 ■ スタッフの「いい人生」	一人ひとりの人生に寄り添うサービスの提供	● 会員数(連結) 2027年度:22.5万人
			サービスの品質・安全性・革新性の追求 地域活性化への貢献	
G	ガバナンス	■ ガバナンス強化	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	● 女性管理職比率(連結) 2027年度:25%
			全スタッフの「しあわせ」の追求	● 男女間賃金格差(連結) 2027年度:75%
			能力・キャリアの開発	● 男性育児休業取得率(連結) 2027年度:85%
			透明性の高い公正な事業運営 非財務情報の開示とステークホルダーとの対話促進	ガバナンス・リスクマネジメント体制を強化し、投資家との建設的な対話を通じて、企業価値向上に努めてまいります。

※ESG報告ガイドライン「ステークホルダー資本主義測定指標」に基づきカテゴリに分けています。
(注)特定12品目:「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき政令で定める。



統合報告書2023を発行しました

当社グループは、株主・投資家の皆様に、リゾートトラストグループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えすることを目的とし、統合報告書を発行しています。なお、統合報告書2023は、当社ウェブサイト (https://www.resorttrust.co.jp/ir/library/investors_guide/) よりご覧いただけます。



「サステナビリティフォーラム」の取り組み

リゾートトラストグループでは、人財を「価値創造の源泉」として捉え、その人財の成長が企業価値を最大限に引き上げると考えており、「人」に焦点を当てたマテリアリティを制定しています。昨年度からは、スタッフのエンゲージメント向上を目的として、一人ひとりの「想い」や「志」に焦点を当て、当社グループで働く意味や当社グループらしさを追求する仕組みづくりに取り組んでいます。

一連の活動を「サステナビリティフォーラム」として位置づけ、2024年度中にグループ全体のスタッフが一堂に会するイベントの開催を目指しています。2023年3月には、その前段となる「プレ・サステナビリティフォーラム」を開催しました。事業や職種等の垣根を越えて参加者を募り、グループワークや社長との対話を通して、リゾートトラストグループの可能性を語り合いました。

その後も毎月ペースで小規模のイベントを開催し、社内報でグループ内への定期報告も行っていきます。今後もスタッフ一人ひとりの想いを繋げることで、スタッフ全員がやりがいを持ち、当社グループの新たな価値を創出するきっかけづくりを行ってまいります。



リゾートトラストグループ「SDGs週間」の実施

毎年9月末の国連総会の会期に合わせて設けられる「SDGs週間」に際し、スタッフ全員がSDGsに触れて、考えて、行動するきっかけとなるよう、リゾートトラストグループ「SDGs週間2023」を開催しました。

「毎日SDGsクイズ」・「SDGs習慣の実践」による意識と行動の啓発、「SDGsアイデア」の募集で、1万人以上いるスタッフが持つアイデアやスキルの共有などを行い、グループ全体でSDGsに取り組むムードを高める一週間となりました。



サステナビリティ情報の
詳細はこちら

第3回「サステナビリティ委員会」の開催

リゾートトラストグループは2022年度、サステナビリティ経営の推進機関として「サステナビリティ委員会」を設置しました。サステナビリティ委員会では、定期的に、気候変動をはじめとするサステナビリティ課題への対応計画や進捗の審議・報告を行います。

2023年10月6日には第3回目となる委員会を開催しました。社長及び各本部長、そして議題ごとに各部門の推進責任者が集まり、実績と今後に向けた議論を行いました。

【議題】

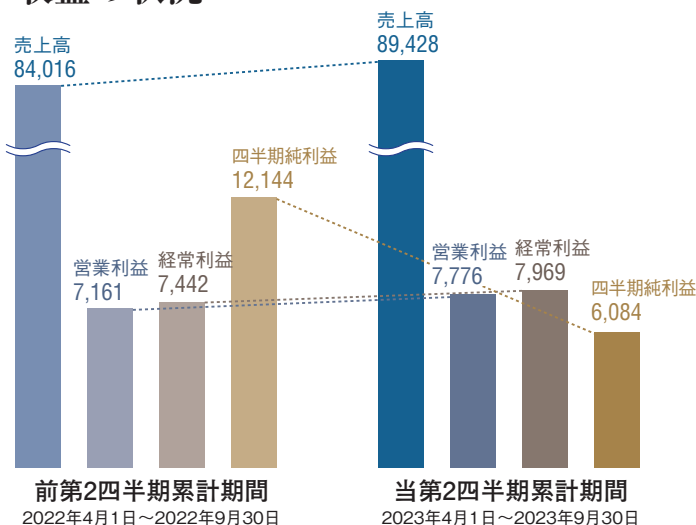
- マテリアリティのKPI・目標値設定について
- 人的資本経営の現状と今後の計画について
- GHG排出量の削減（実績及び取り組み、移行計画）に向けて
- 廃プラスチック削減／食品リサイクルの取り組みについて
- サステナビリティ推進の施策報告、外部動向及び今後に向けて

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

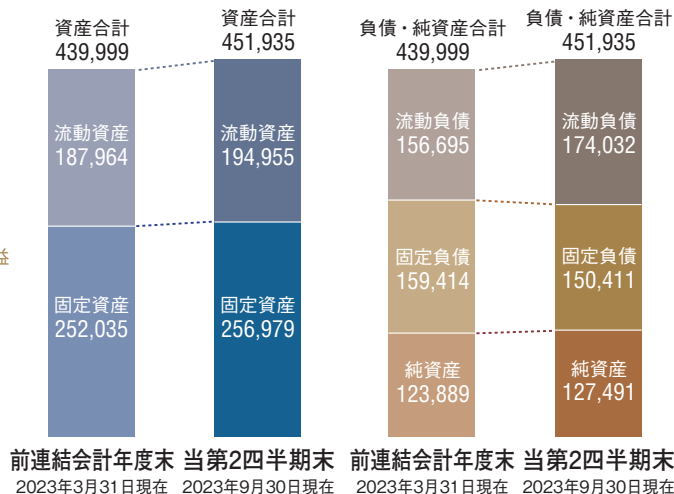
収益の状況

単位：百万円



財務の状況

単位：百万円



キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前第2四半期累計期間 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期累計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,319	11,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,645	△1,837
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,634	△12,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	15
現金及び現金同等物の増減額	476	△2,173
現金及び現金同等物の期首残高	29,210	28,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,686	26,752

連結決算の概要

損益

会員権事業では、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」の好調な販売、ホテルレストラン等事業において、回復が遅れていた都市部を中心に会員制リゾートホテルの稼働率が前年を上回ったことなどにより、リゾートトラストグループ全体として、経常利益までは「増収増益」となりましたが、前年同期に一般ホテル売却に伴う特別利益（約90億円）があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は「減益」となっております。

財務

当第2四半期連結会計期間末の主な財務の変動は、会員権販売における提携ローンの利用に伴い、営業貸付金が5,246百万円減少し、割賦売掛金が11,594百万円増加するなど流動資産が194,955百万円になる一方、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が19,522百万円増加した一方で、長期借入金金が11,056百万円減少したことなどにより負債合計は324,443百万円となりました。

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/>

会社概要

会社名 リゾートトラスト株式会社

所在地 本社 〒460-8490 名古屋市中区東区2-18-31
東京本社 〒151-0052 東京都渋谷区代々木4-36-19
Tel (052) 933-6000 (大阪) Tel (03) 6731-0001 (大阪)

代表者 代表取締役ファウンダー 伊藤 興隆 グループCEO (グループ最高経営責任者)
代表取締役会長 伊藤 興隆 CEO (最高経営責任者)
代表取締役社長 伏見 有貴 COO (最高執行責任者)

創業 1973年4月

資本金 196億90百万円 (2023年3月末)

従業員数 7,943名 (2023年3月末 連結)

事業内容 本城北ヶ所、支社4カ所
リゾートホテル・シティホテル等 国内40カ所、ハワイ1カ所
ゴルフ場13カ所
メディア・カルチャー
シニアレジデンス3カ所

グループ会社一覧

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/>

グループ会社

ホテル関連

RESORTTRUST HAWAII, LLC ホテルの経営
代表者：松野 重利

(株) ジェス 代表者：松野 重利
TEL：052-310-0794
URL：http://http-jms.jp/ 〇

(株) コンプレックス・ ビズ・インターナショナル ヘアアクセサリ等の製造・販売
代表者：松野 重利
TEL：052-310-2450
URL：http://www.complexbiz.com/ 〇

(株) サンホテルエージェンツ 旅行予約代理店
代表者：宇治 栄治
TEL：052-310-0798

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

役員一覧

役職	名前	職務担当
代表取締役ファウンダー	伊藤 興隆	グループCEO(グループ最高経営責任者)
代表取締役会長	伊藤 興隆	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	伏見 有貴	COO(最高執行責任者)
取締役社長	新谷 俊之	会員部本部長
常務取締役	井内 克之	業務部門 理事 兼 COO(コンプライアンス経営責任者)
取締役	田村 啓一郎	業務部門 理事

株式の状況・株式分布状況・株主メモ

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html>

株式基本情報

株式の状況 (2023年3月31日現在)

項目	内容
証券コード	4681
業種	サービス業
決算期	3月31日
発行済株式総数	150,000,000株
株主数	42,602名
上場場所	東証プライム市場、名証プレミア市場
上場年月日	2000年11月27日
売買単位	100株
発行済株式の総数	108,520,799株

株主優待

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

株主優待情報

基本的な優待制度

長期保有株主優待優待制度 (2016.3月末より導入)

100株以上の株主優待に対し「株主優待電子チケット (2023.3末の株主優待より)」を発行いたします
※電子チケットは、「RTTGアプリ」にて発行予定です
※内容詳細は、2023年6月29日に株主様へ株式計算書類とともに郵送いたします。
※ご不明な点については、FAQをご参照ください

【株主優待の留意事項】
2022年度より、定額株主優待 (6月末~7月上旬) に、「RTTGポイントクラブ」アプリを基本に電子優待券を発行いたします。移行に当たっては、定額株主優待 (6月末~7月上旬) に発行された普通優待券も引き続き有効です。

個人投資家向けIRページを開設予定

当社では、2023年12月に新たに個人投資家向けIRページの開設を予定しております。

当社グループのビジネスモデルや配当・株主優待について、「数字で見るリゾートトラスト」など、当社グループの基本情報を網羅的に知ることができる内容となっております。公開まで今しばらくお待ちください。

個人投資家のみなさまへ

To All Individual Investors

